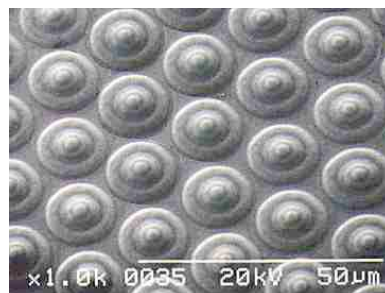


電鍍金型

電鍍金型 は、プラスチック用金型、ゴム金型、RIM成形用金型などに利用され、本型ならびに簡易金型に使用されます。**電鍍金型** は、他に類を見ない**転写性と寸法安定性**が特徴です。電鍍キャビティは、表面に応力の少ないスルファミン酸ニッケル合金めっきにすることにより、高硬度で、バリやパーティングラインの少ない金型が作成できます。



ファインダーレンズの拡大写真

皮膜の硬度

| | |
|-------------------------|-------|
| スルファミン酸ニッケル-コバルト合金(表面部) | 400Hv |
| スルファミン酸ニッケル | 260Hv |

用途

- ①微細なパターンのある金型 優れた転写性を利用して、精密パターンを反転します。光学系特殊レンズ、導光板など。
- ②アンダーカットのある金型 ゴムなどの金型に使用します。筆記具のグリップ、ラジコンカーのタイヤ、カメラリングなど。
- ③直彫りが不可能な金型 機能要求のある製品、複雑なデザイン(ヘアライン、鏡面、凹文字等の組み合わせ)。ウォームギア、ヘリカルギア、極小穴金型、家電部品など。

精密肉盛電鍍

金型の寸法不良の修正、精密部分の摩耗の補修に、電鍍による肉盛が可能です。

肉盛電鍍の利点

- ①加工温度が60℃以下と低いため、変形なく肉盛精度も高く、削りだしも容易で精度の高い仕上げが可能。
- ②三次元形状にそって均一に肉盛ができる。
- ③深い彫り込み底部などの溶接、溶射の困難な場所への肉盛が可能。
- ④肉盛部分以外にダメージをあたえない。

